



## 組合員の皆さん、 明けましておめでとうございます。

この冬は寒さが一段と厳しく感じられますが、年末年始輸送の只中、皆さん普段にも増して汗をかかれておられると思います。本当にご苦労様です。

昨年師走の衆院選では大方の予測通り自民党の圧勝となりました。昨年 9 月に行われた自民党総裁選を思い起こしてみてください。総裁選候補者全員が揃いも揃って「国防軍」の創設など「憲法改正」を掲げ、なかでも海外での武力行使を可能にする「集団的自衛権の行使」を公約としていました。その最右翼に位置するのが安倍晋三総裁とされています。こうした自民党政権復活の意味するものは、更なる社会不安、過去の自公時代の悪政復活、小泉政権時に強引に押し進められた規制緩和、経済の自由化の名のもと作られた格差社会が益々拡大するのではないかと懸念されます。

また、福島第一原発事故を招いた過去の原発大量立地政策に何ら反省を示していません。このままではなし崩し的に原発再稼働を容認していくのではないかと危惧しますし、あろうことかさらに新設すらほのめかしてもいます。

きな臭さ漂う政権交代で幕開けした新年、あらためて東日本大震災・原発事故の一刻も早い復興を願い、生活の不安や深刻な格差・貧困問題が改善される年となるよう願ってやみません。

今月 23 日には報復処分撤回裁判の判決を迎えます。必ずや勝利あるものと確信しておりますが、予断は許されません。気を抜くことなく、最後まで闘い抜く決意で臨みます。本年もよろしくお願ひ致します。